

松尾鉱山資料館だより

MATSUO MINE MUSEUM



松尾鉱山資料館 TEL 78-2598

鉱山アラカルト「浮遊選鉱の仕組み」

◆浮遊選鉱導入の経緯

今回は、11月号の記事に関連して浮遊選鉱の仕組みを紹介します。

採掘した鉱石には、有用な資源となる鉱物とそれ以外の岩石などが含まれています。松尾鉱山が昭和30年代に開発を始めた第4鉱体から産出する硫黄鉱石は、主に鉄との化合硫黄(硫化鉄鉱)で焼取製錬には向かないため、製品化には別の方法が必要でした。

◆石は沈み鉄が浮かぶ泡沫浮遊の技術

昭和35年に新設された浮遊選鉱場では、鉱石の成分によって異なる水の染み込みやすさ(親水性・疎水性)の度合いを利用して、目的の鉱物(精鉱)と不要な岩石など(尾鉱)を選鉱する「泡沫浮遊」という技術を用いました。起泡剤などの特殊な試薬を混ぜて作った液体

に、0.2mm以下の大きさにまで粉碎した鉱石を入れ、空気を吹き込みながら攪拌することで水分が染み込んだ岩石は沈み、油分で包まれた鉱物を浮上させてかき採って高品位の浮遊精鉱を造り、製品としました。

浮遊選鉱は、採取目的に応じた試薬を使用すればさまざまな鉱物に応用できるため、銅をはじめ金銀の選鉱にも利用されました。その技術は日々進化しており、現在ではレアメタルや海底鉱物資源などの選鉱にも用いられているとのことです。



重い硫化鉄鉱が浮く浮遊選鉱の泡

◆常設展示に企画展の作品が仲間入り

松尾鉱山の往時を偲べるよう、本年度企画展の「ミニ索道」80基と令和2年度企画展の「坑道立体模型」を常設展示に加えました。

図書館だより

L I B R A R Y



図書館 TEL 75-1700

松尾コミュニティセンター図書室 TEL 76-3235

荒屋コミュニティセンター図書室 TEL 72-2505

◆人気絵本のシリーズ

大人気絵本の続刊が入りました。楽しみにしていた人も、まだ読んでいない人も読んでみてください。

『チャレンジミッケ! 11 へんてこりなおみせ』
(写真中央下段)

作/ウォルター ウィック、訳/糸井 重里、出版社/小学館



『ノラネコぐんだんラーメンやさん』(中央)

著/工藤 ノリコ、出版社/白泉社

『パンどろぼうとなぞのフランスパン』(左)

作/柴田 ケイコ、出版社/KADOKAWA

『ほしじいたけほしぼあたけ おにたいじはいちだいいじ?』(右)

作/石川 基子、出版社/講談社

◆Tom&Tam Story Timeをリクエスト開催

普段と違う日にも開いてほしいという利用者からのリクエストに応え、英語と日本語のお話会「Tom&Tam Story Time」~おかわり編~を12月5日に開きました。

6組14人の親子が参加し、小学校の教科書に掲載されている『ふたりはいつも』など3冊の絵本 くつろぎながら耳を傾けるの読み聞かせを楽しみました。子どもたちは「知っている絵本が英語になっておもしろかった」と口をそろえて喜んでいました。

※定期開催のStoryTimeは毎月第二土曜日午後3時から3時半、図書館お話室で開いています。気軽に参加してください。

